

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2025/11/21

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	32.43	-0.04
JPY/THB	0.2060	-0.0007
USD/JPY	157.47	0.31
EUR/THB	37.39	-0.08
EUR/USD	1.1528	-0.0010
USD/CNH	7.118	0.000
SGD/THB	24.81	-0.04
AUD/THB	20.88	-0.16
USD/INR	88.71	0.12
USD Index	100.16	-0.07

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	4,060.0	-22.8
WTI (Oil)	59.14	-0.3
Copper	10,738.5	-14.0

Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,281.81	9.64
NIKKEI (JP)	49,823.94	1286.24
DOW (US)	45,752.26	-386.51
S&P500 (US)	6,538.76	-103.40
SHCOMP (CN)	3,931.05	-15.69
DAX(GER)	23,278.85	115.93

Bond

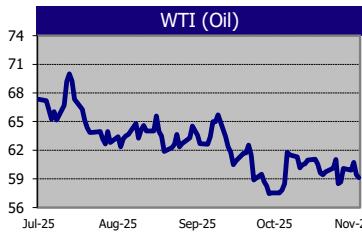
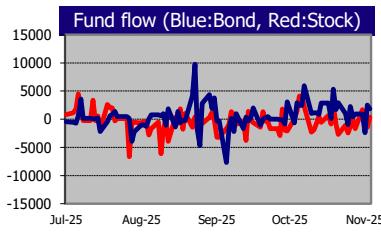
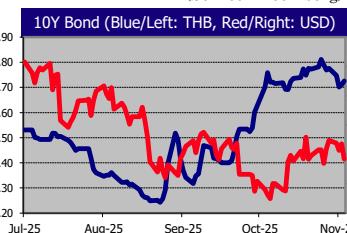
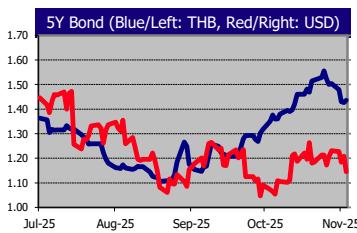
	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.435	0.009
10Y (THB)	1.726	0.015
5Y (USD)	3.646	-0.063
10Y (USD)	4.085	-0.052

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	358	1812.4
Bond net flow	1,821	-680.2

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)

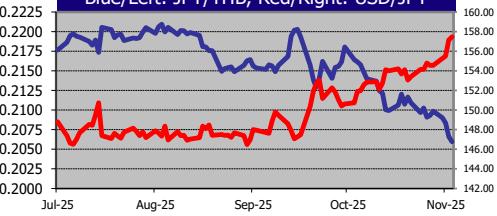


MIZUHO

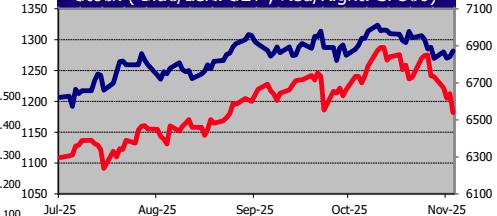
USD/THB



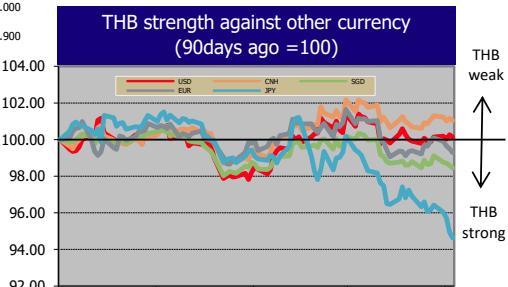
Blue/Left: JPY/THB, Red/Right: USD/JPY



Stock (Blue/Left: SET , Red/Right: SP500)



THB strength against other currency (90days ago = 100)



Yesterday's market summary

●ドルバーツ

昨日のドルバーツは32.40バーツ台半ばで取引開始。米半導体大手の好調な決算を好感したリスクセンチメントの改善や、タカ派的な10月FOMC議事要旨を受けた12月FOMC利下げ観測の後退等に五・十日の実需のドル買いも加わったか序盤はドル買い優勢で32.50バーツちょうど付近まで上昇するも、ドル買い一巡後はNY時間オーブンにかけて32.40バーツ台前半まで戻した。NY時間朝、予想対比良好な9月非農業部門雇用者数変化指数が発表されるも、同時に発表された8月分の結果がマイナス修正された事や、失業率が予想を上回り、直後はドル買いで反応するも32.30バーツ台前半まで下落。その後は32.40バーツ台後半で反発し、そのままの水準で取引終了。

●ドル円その他

昨日のドル円は157円ちょうど付近で取引開始後、157円台での底堅い推移が継続。東京時間午後に令和7年度補正予算が21兆円規模で最終調整されているとの報道があると、本邦財政悪化が意識されたか円買い動意は薄く、157円台半ばで欧州時間に渡った。その後は一時157円ちょうど付近まで買戻されるも反発。157円台後半でNYオーブンを迎えると、強弱まちまちとなった米雇用関係の指標が発表され、一時157円台前半まで下落。結局じりじりと157円台半ばまで戻し、午後は157円台半ばでの小幅なレンジ推移に終始し取引終了。

Bangkok Dealer's Eye

昨晩、米9月の雇用統計が発表された。当初、10月に発表が予定されていたが、政府機関閉鎖の影響を受け延期されていたものだ。NFP: 非農業部門雇用者数変化については市場予想を上回る結果となった一方で、8月分については下方修正されていたことに加え、失業率も4.4%と前回8月の4.3%から上昇、平均時給も市場予想を下回る結果となっている。10月データは11月分に合わせて公表される予定となっているが、政府機関閉鎖の悪影響は少なからずあるのではないか。

今週、10月FOMC議事録が発表され、「多くのメンバーが12月利下げは不適切と示唆」していたことが明らかになった。メンバーのタカ派傾斜を感じさせるコメントも相次いでいるが、昨日の雇用統計の結果は楽観視するには早い様にも感じられる。確かに9月CPIが3.0%だったことを踏まえれば、「予防的な利下げ」は難しいとは思われるが「AI関連投資の過熱」という指摘もある中で、景気後退局面に対応する必要性を感じているメンバーもいるのではなかろうか。

一時は100%まで織り込まれていた12月利下げは、足もとで30%程度まで後退しているが、再度利下げ期待が高まる可能性には十分注意しておきたい。(綱島)